

平成 27 年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業  
 (系統性のある支援研究事業)  
 成果報告書 (概要版)

実施機関名 ( 甲賀市教育委員会 )

1. テーマ

高校への継続した支援の引き継ぎを目指して、個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・活用パッケージプログラムの開発と活用を通しての引き継ぎシステムの構築を目指す。

2. 問題意識・提案背景

甲賀市では、障害のある人と共に生きる地域づくりを進めてきており、必要な情報や支援が次のステージにも継続されるシステム構築に取り組んでいる

学齢期においては、教育委員会事務局学校教育課を中心に各課と連携して、支援の充実と継続についての取組を進めているところであり、各小中学校では、特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の指導計画等を立て指導・支援を行ってきている。しかし、小学校から中学校に引き継がれた計画には、必要な情報が記載されていなかったり、次の指導・支援につながらなかったり、作成が途絶えてしまったりと課題が多い。中学校から進学先への引き継ぎでは、保護者の同意が得られないケースがあったり、入試直前になり、本人の教育的ニーズに応じた配慮や支援について中学校で十分検討や実践がなされていなかったりするケースが生じている。

このようなことから、個別の指導計画や個別の教育支援計画の内容の充実と作成が途切れないための方法、保護者の理解を進めるための取組、スムーズな引き継ぎのシステムづくり、学校間の連携による計画の活用等について、より有効な方法を検討し、必要な支援が確実に継続していくことができるシステムが必要であると考えた。

3. 指定校について (平成 27 年 11 月 1 日現在)

【前在籍校】

指定校名：甲賀市立城山中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数	学級数	
通常の学級	174		5		140		4		163	5	
特別支援学級	7		/		6		/		3	/	
通級による指導 (対象者数)	0		/		0		/		0	/	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	29	1	9	1	1	3	1	0	47

指定校名：甲賀市立信楽中学校											
	第1学年			第2学年				第3学年			
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数			
通常の学級	91	3		101	3		108	4			
特別支援学級	3			4			2				
通級による指導 (対象者数)	0			0			0				
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	18	1	9	1	1	2	1	0	35

### 【後在籍校】

指定校名：滋賀県立甲南高等学校											
				第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
課程	学科			生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
全日制	総合学科			120	3	116	3	110	3		
定時制											
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	25	1	17	1	3	0	1	3	53

## 4. 指定校における取組概要

<p>①持続的な引き継ぎシステムを指向した個別の指導計画作成について</p> <p>コーディネーター情報共有会において個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成課題や実態について共有化を図り、課題解決に向けたプログラムの開発に取り組んだ。高校へ引き継ぐ適切な支援内容となるよう文例チェックも行き、システム業者と委託契約してからは、更に具体的なシステム開発を進めた。また、前在籍校においては、個別の指導計画の作成時期、実施時期について検討、年間スケジュールの見直しを実施。個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラム完成後は、事例についてアセスメントを行い、個別の指導計画を作成した。</p> <p>②進学前後における適切な引継ぎ内容及び時期等の研究</p> <p>コーディネーター情報共有会で、引き継ぎの内容、時期について校種間で意見交流。後在籍校において、引き継ぎ体制の見直しを実施した。学校間連携コーディネーターによる巡回訪問では、事例について観察を行った。</p> <p>③児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引き継ぎを実施する体制の整備</p> <p>「甲賀地域の中学校卒業生にかかる個別の支援情報の引き継ぎ会」を実施。進学先へ個別の指導計画がより円滑に行われるように、早期から関係機関と連携を図った。学校間連携コーディネーターにも引き継ぎ会に参加してもらい、後在籍後への引き継ぎ事例について情報共有を図った。</p>
--

## 5. 主な成果

必要な支援の内容を適切に高校へ引き継ぐことを目的とし、個別の指導計画等作成・
--

活用パッケージプログラムの作成に取り組み、完成に至ることができた。また、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの開発と並行しながら、引き継ぎ実施の体制整備にも取り組んだ。コーディネーター情報共有会で、校種間の異なる学校が個別の指導計画や個別の教育支援計画についての課題をあげ、整理することが、システム開発する際の大きな原動力となった。更に、個別の指導計画を作成するため、支援をどのようにつないでいけばよいか、校種の違う授業に参観し、実態把握を行ったこと、また、学校間コーディネーターから、児童生徒の実態をどのように個別の指導計画に生かすかというテーマによる研修を行ったことも個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラム作りにおいて大変有効であった。

また、高校へ個別の指導計画を確実に引き継ぐためには、個のニーズをしっかりとアセスメントしていくことが大切であること、小学校から保護者と共有しながら個別の指導計画を作成することが高校へ引き継ぐための基盤となることなども共有でき、学校間連携コーディネーターに巡回訪問をしてもらったことは大変有効であった。前在籍校、後在籍校では、個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムの開発と並行しながら、引き継ぎ実施の体制整備にも取り組んだ。その結果、課題も明確になり、来年度以降の校内体制の見直しへとつなぐことができた。

## 6. 今後の課題と対応

### (1) 個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを使った引き継ぎシステム構築

個別の指導計画等作成・活用パッケージプログラムを使って保護者と協働して個別の指導計画を作成するという点においては、検証が不十分であった。保護者と合意形成しながら個別の指導計画を作成し、このプログラムの有効性を検証する。内容についての修正も加えていきたい。更に個別の教育支援計画についても引き継ぎに必要な情報を取り入れた内容になるよう見直していきたい。

### (2) 高校への引き継ぎ体制確立

入学前後の引き継ぎの内容と体制について整理したが、引き継がれた内容が適切であるかどうか、検証しながら、より持続的な引き継ぎシステムを構築することが必要である。学校間連携コーディネーターの巡回訪問や校種間交流の機会を適宜設定することが必要であると考ええる。

## 7. 問い合わせ先

組織名：

- (1) 担当部署 甲賀市教育委員会事務局 学校教育課
- (2) 所在地 滋賀県甲賀市甲南町野田 810 番地
- (3) 電話番号 0748-86-8317
- (4) FAX 番号 0748-86-8380
- (5) メールアドレス satomi.atsumi@city.koka.lg.jp